

2022年度活動報告・2023年度活動方針

2022年度活動報告

1. 組合員数と出資実績 (2023年3月末)

組合員 106名 出資額 42,714,500 円

Oikocredit International株 配当金収入307,600 円

2. 一般社団法人登録を実現

かねてより法人格の取得がOikocredit Internationalから送金受け入れ可能団体として要請されていたことに加え、金銭を預かる組織として信頼性を高めて日本の市民社会での活動を広げるために、一般社団法人としての登録を実現した。これには、定款を複数箇所修正することも伴った。7月の総会で一応の了承を得て具体的な登録作業が完了したのは8月であったため、11月に臨時総会を行い、その承認を経て一般社団法人への転換を完了した。

3. Oikocredit International(以下Oikocredit)へ団体の登録

この間強化されてきたマネーロンダリング防止のための国際金融取引における送金主体規制に伴い、法人番号や理事のIDを伴う登録、バンクステートメント、ビジネス内容や取引先に関するチェック、定款の英訳の提出が求められ、さらにOikoの法的問題担当者とのオンライン面談などもあり、それらへの対応に時間を要した。

4. 日本におけるオイコクレジットの認知度拡大と理解を深めるために行ってきた活動

- (1) Oikocreditの興味深いプロジェクトの紹介や、『社会的インパクトレポート2022』の全文を翻訳紹介し、また、オイコクレジットとその2022~26の戦略を紹介したビデオの日本語字幕版をホームページに掲載。

その導入部分をFacebookにあげて、会員以外の人々にも届けようとした。Facebookでの発信は10回に及ぶ。しかし、アウトリーチは100に届かず、とりわけエンゲージメントは少ない。

- (2) 5月に「連帯金融としてのオイコクレジットと協同組合」というタイトルで、オンラインセミナーを11名の参加で行った。会員へのメール以外にはFacebookだけであったので、今後の広報の在り方は検討の余地がある。

- (3) 名古屋学院大学で出資や融資を軸としたOikocreditの取り組みが貧困実態とその削減にどうかかわっているかについて講義した。

- (4) ハチドリ電力の社会的活動団体紹介欄で、オイコクレジット・ジャパンの活動を紹介しているが、それを通じてハチドリ顧客約400人から47,807円の寄付があった。

- (5) グローバルフェスタ東京2022に応募したが、出展数が限られていたため選外となった。

(6) Oikoへの送金については、当初急激な円安事情で7月は控えたが、その後、当団体の審査が終了するまで投資金を受け付けられないとの通告があり、結局一年間ストップした。

以上